

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	神経内科学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	301
担 当 教 員	渡邊 達三	実務経験と その関連資格	島根県環境保健公社 浜田支所に医師として勤務。			
《授業科目における学習内容》						
脳・神経系疾患の成り立ちを主要疾患・主要症状・検査・治療・合併症・予後を含め理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
出席、課題提出、小テスト、筆記試験で総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
標準理学療法学 神経内科学 医学書院 参考)「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[7] 脳・神経」医学書院 病気が見える 脳・神経 メディックメディア						
《授業外における学習方法》						
教科書、資料を読んでおく。						
《履修に当たっての留意点》						
積極的な取り組みを望む。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢神経系の解剖と機能について理解でき、説明できる。	教科書	教科書、資料を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	中枢神経系の解剖と機能			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経学的診断法について理解でき、説明できる。	教科書	教科書、資料を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	神経学的診断法			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	意識障害、頭痛、運動麻痺、錐体路、錐体外路について理解でき、説明できる。	教科書	教科書、資料を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	神経症候学(意識障害、頭痛、運動麻痺、錐体路、錐体外路)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動失調、感覚障害、高次脳機能障害について理解でき、説明できる。	教科書	教科書、資料を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	神経症候学(運動失調、感覚障害、高次脳機能障害)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳神経外科領域疾患の代表的症候について理解でき、説明できる。	教科書	教科書、資料を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	神経症候学(脳神経外科領域疾患の代表的症候)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	病気について理解でき、説明できる。	教科書	教科書、資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	神経疾患各論1		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	病気について理解でき、説明できる。	教科書	教科書、資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	神経疾患各論2		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	病気について理解でき、説明できる。	教科書	教科書、資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	神経疾患各論3		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	病気について理解でき、説明できる。	教科書	教科書、資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	神経疾患各論4		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経障害、筋疾患・神経筋接合部疾患について説明することができる	教科書	教科書、資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	末梢神経障害 筋疾患・神経筋接合部疾患		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	脱髄・変性疾患、脳・神経系の感染症について説明することができる	教科書	教科書、資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	①脱髄・変性疾患		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	脱髄・変性疾患、脳・神経系の感染症について説明することができる	教科書	教科書、資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	②脳・神経系の感染症(脳炎・髄膜炎、脳腫瘍、プリオン感染症、クロイツフェルト・ヤコブ病 など)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	中毒、てんかんについて説明することができる	教科書	教科書、資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	中毒 てんかん		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症について説明することができる	教科書	教科書、資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	認知症		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	内科疾患に伴う神経疾患、膠原病について説明することができる	教科書	教科書、資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	内科疾患に伴う神経疾患 膠原病		